

令和8年 第5回米原市定例教育委員会

日 時：令和8年5月22日（金） 午後3時30分開会
場 所：米原市役所 コンベンションホール

（出席者）

教 育 長：一ノ宮教育長
教 育 委 員：上橋委員、本庄委員、法戸委員、井口委員、北川委員
教 育 部：筒井部長
教 育 総 務 課：馬場課長
学 校 教 育 課：澤田課長
生 涯 学 習 課：平山課長
図 書 館：梶川館長
ス ポ ー ツ 推 進 課：横田課長
学 校 給 食 課：甲斐沼課長
書 記：柴田、山本

1 開 会

2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。5月に入り暑い日が続いています。地域によっては気温が30度前後、あるいは30度を超える日もあり、子どもたちもまだ暑さに慣れていない時期の活動となるため、熱中症のリスクが心配される状況です。最近、中学校の体育大会も9月ではなく6月に行うところが増えてきました。9月はまだまだ暑いということで時期を早めているのですが、6月もこれから気温が上がっていき、熱中症の心配は変わらず続きそうです。暑熱順化という言葉がありますが、これは徐々に体を暑さに慣らしていくことが重要とされています。急に気温が上がってしまうと、体がうまく暑さに順応できないこともあります。一気に暑さが厳しくなると、子どもたちの体調が心配される場所です。

各学校にはウォーターサーバーを入れる予定ですが、例年よりも早めに設置して対応していきたいと思っています。

5月22日、令和8年度滋賀県都市教育委員会連絡協議会定期総会が草津市で開催されました。参加していただいた教育委員の皆さん御苦労さまでした。ありがとうございました。後半の講演の中では、令和10年4月開校予定の滋賀県立高等専門学校開校準備局から、概要等について説明がありました。大きなテーマとしては、すべての人と地域を支え続ける技術を磨く学校、エンジニアを養成する学校です。遠方の方向けの学生寮の

設置や、男子学生はもちろん女子学生も快適に学べる施設になるということです。学科は、工学系総合学科の1学科の中に、情報系、電気電子系、機械系、建設・環境系の4つのコースが設定されるそうです。米原高等学校に理数科がありますが、一部では競合する可能性もあるのかなと若干心配もしています。今後の動きについても注目していきたいと思っています。

前回の定例教育委員会以降の動きについて、いくつか話をしたいと思います。まず、4月23日を基準日として、全国学力・学習状況調査が行われました。小学校は国語および算数、中学校は国語、数学および英語の調査が行われました。特に英語では生徒が活用するタブレットを用いたオンライン方式で実施され、市内の学校では大きなトラブルもなく実施できたと聞いています。結果が公表されましたら、市内の学校の状況をしっかり確認していきたいと思っています。

次に、5月14日、15日に滋賀県中学校春季体育大会が開催されました。特筆すべきは、双葉中学校陸上部です。男子総合2位、女子総合1位という素晴らしい結果を収め、男女総合優勝を飾ってくれました。昨年度の滋賀県中学校秋季新人大会でも、男子総合1位、女子総合1位で男女総合優勝を飾ってくれました。双葉中学校は大きな学校ではありませんが、2連覇という素晴らしい成績を収めてくれています。そして、米原中学校サッカー部も優勝を、伊吹山中学校ホッケー部も男子1位、女子2位と、こちらも素晴らしい成績を収めてくれました。それぞれが特色ある部活動の中で好成績を収めてくれました。

また、5月19日から議会をはさみ6月23日まで、本年度の人事訪問が行われています。今日も午前中、学校を訪問しました。今回は新年度の児童生徒数、学級数の確認と異動職員の定着状況等の確認が中心となっています。各クラスを巡回し校長の説明を受けています。全体としては、年度当初から病欠や手術療養の職員の補充に対して、授業に支障が出ないよう配慮しながら対応しています。市内全体としては、落ち着いた中で授業の様子を見られました。

ゴールデンウィーク期間中には、各地で伝統的な祭りが開催され、伊吹山テレビでもダイジェストが紹介されていました。私の住む地域では、鍋冠祭りが5月3日に行われます。筑摩の御旅所から筑摩神社まで、数え年8つの少女8人が狩衣に張子の鍋を被って約200名の行列と共にお渡りが行われます。ここでも少子化の影響があり、継続することに頭を痛めておられる地区もあると聞いています。他の祭りでも同じかと思いますが、この祭りに合わせて市外に住んでいる若者たちが帰省し、祭りの大役であったり、運営に関わってくれています。懐かしい顔ぶれが、それぞれ元気に頑張っている姿を見ると頼もしい気持ちになります。まさにこれもシビックプライドということです。生まれ育った地域の祭りなどの行事に子どもの頃から関わり、大人になってもしっかりと受け継いでいくという誇りや愛着は、米原市としても大事にしていきたいと思っています。

本日は議案も多いですし、前回お話したように、この定例教育委員会の場で協議する事項も挙げながら進めていきたいと思っています。本日もどうぞよろしくお願いいたします。以上、最初の挨拶とします。

3 会議録承認

令和8年第4回定例会議事録

4 議案審議

議案第21号 米原市立小中学校の在り方に関する検討委員会設置規則の制定について

【教育総務課】

(内容) 米原市立小中学校の在り方に関する検討委員会設置規則の制定について、この案を提出するものです。提案理由としては、米原市付属機関設置条例(平成28年米原市条例第3号)に係る米原市立小中学校の在り方に関する検討委員会設置規則を別紙のとおり制定したいので、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

A委員 : これは児童生徒減少に伴う学校の統廃合や再編などを検討するための委員会ですか。また、委員の構成や人員等は決定していますか。

事務局 : あくまでも統廃合を前提とした委員会ではありません。しかしながら、児童生徒数は減少傾向です。5年後、10年後には1学年が数人程度の学校も出てくる見込みとなっています。様々な課題に対し検討を重ね、より良い方向性を見いだしていくための委員会となっています。委員につきましては、これから選定することになっています。

教育長 : 出生数についても前回の定例会教育委員会でお話をさせていただきましたが、現状、急激に減少している中で、子どもたちにとって最適な教育環境について十分な協議をしていきたいと思っています。協議の進捗状況についても、定例会教育委員会で紹介させていただきます。

原案承認

議案第22号 後援等名義使用承認(後援)について

【教育総務課】

○第51回全国指導員学校 西日本滋賀会場

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第23号 米原市立学校給食運営委員会委員の委嘱および任命について

【学校給食課】

(内容) 米原市立学校給食運営委員会委員の委嘱および任命について、この案を提出するものです。提案理由としては、米原市立学校給食運営委員会委員を別紙のとおり委嘱、任命したいので、米原市附属機関設置条例（平成 28 年米原市条例第 3 号）第 4 条第 2 項の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

事務局 : 給食センター配送車の発生事故について報告します。5 月 15 日金曜日の午後、東部給食センター配送車が樋口地先で事故に遭いました。相手方の軽自動車が車線を大きくはみ出し、反対車線側のほぼ中央を走行してきたため、避けられる状況ではありませんでした。軽自動車の前方と配送車の助手席部分が衝突しました。本日、相手方の保険会社から過失割合 100 対 0 で相手方が全額負担との連絡を受けました。怪我の状況としましては、配送車運転手は怪我はありません。助手席の配送員は擦り傷と打撲程度です。相手方の運転手も大きな怪我はないとのこと。相手方の運転手は高齢者だったとのこと。配送車は助手席側前方が大きく破損しているため修理に出していますので、現在はレンタカー対応で配送業務をしています。配送業務に関しては、事故当日も回収の時間帯でしたし、その後も滞りなく行われています。

議案第 24 号 米原市図書館協議会委員の任命について

【図 書 館】

(内容) 米原市図書館協議会委員の任命について、この案を提出するものです。提案理由としては、米原市図書館協議会委員を別紙のとおり任命したいので、米原市立図書館条例（平成 17 年米原市条例第 173 号）第 14 条の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 25 号 令和 8 年度米原市一般会計補正予算（第 2 号）について

【スポーツ推進課】

(内容) 令和 8 年度米原市一般会計補正予算（第 2 号）のうち教育委員会所掌の補正予算を別紙のとおり令和 8 年米原市議会第 2 回定例会に提案することについて教育委員会の意見を求めるため、この案を提出するものです。提案理由としては、所要の補正予算が必要となったため、歳入予算 400 千円を増額し、

歳出予算 400 千円を増額するものです。

事務局：国スポレガシーイベント実行委員会補助金の経費に係るスポーツ振興くじ助成金の内示を受けましたので、595 千円の歳入の増額を行うものです。双葉総合体育館照明設備改修事業に係るスポーツ振興くじ助成金（過年度分）の内示を受けましたので、11,727 千円の歳入の増額を行うものです。財源更正として、スポーツ振興くじ助成金が特定財源として増額となることから、一般財源の減額を行うものです。ワールドマスターズゲーム 2027 関西に係る経費として、米原市実行委員会負担金 400 千円の歳出の増額を行うものです。なお、会場設営やその他関連経費については、今後、県との協議を進めながら必要経費を精査し、9 月の補正予算におきまして追加で要求させていただく予定です。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 26 号 工事請負契約の締結について（双葉総合体育館空調設備設置工事）

【スポーツ推進課】

（内容） 工事請負契約の締結について（双葉総合体育館空調設備設置工事）別紙のとおり令和 8 年米原市議会第 2 回定例会に提案することについて教育委員会の意見を求めるため、この案を提出するものです。提案理由としては、双葉総合体育館空調設備設置工事の請負契約を締結したいので、米原市議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例（平成 17 年米原市条例第 44 号）第 2 条の規程により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 27 号 米原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について（変更）

【スポーツ推進課】

（内容） 米原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について（変更）、この案を提出するものです。提案理由としては、米原市スポーツ推進審議会委員を別紙のとおり委嘱したいので、米原市付属機関設置条例（平成 28 年米原市条例第 3 号）第 4 条第 2 項の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 28 号 財産の取得について

【教育総務課】

○学習用タブレットパソコンの更新について

(内容) 財産の取得について、議案を令和 8 年米原市議会第 2 回定例会に提案することについて教育委員会の意見を求めるため、この案を提出するものです。提案理由としては、令和 2 年度に市内小中学校児童生徒に導入した学習用タブレットパソコンの更新（物品購入）を議会に提案することについて意見を求めるための議案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

教育長 : 今日も息長小学校を訪問しましたが、タブレットは 1 年生から活用して授業を進めてくれています。個別最適な学びと協働的な学びの 2 つを組み合わせ、子どもたちの学力向上のために活用していくことになります。そのためにも、教員がタブレットを授業で活かせるように使い方についても研修をしていくことになります。予定では 2 学期から使用開始となりますので、教員がスムーズに活用出来るように準備は進めているところです。

D 委員 : 従来品と形は変わっているのですか。

事務局 : 元々の OS から変わりますので、子どもたちにとっては、使い勝手が変わることになると思います。画面を立てるタイプは従来品と同じです。

D 委員 : 姿勢の悪さやストレートネックは、首や肩の筋肉を緊張させて目への血流を滞らせ、眼精疲労や眼圧の上昇を引き起こす一因だと聞いています。私も自宅で気を付けています。パソコンのモニターが目線の少し下になるように配置するのが理想的ということなので、子どもたちの姿勢に対する指導も併せて行えると良いなと思います。

原案承認

議案第 29 号 後援等名義使用承認（後援）について

【学校教育課】

○滋賀県立高専出前授業 in 米原

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 30 号 後援等名義使用承認（後援）について

【生涯学習課】

○うたと おんがくと にんぎょうげき「ぞうくんのさんぽ／ペラがえる」

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

報告第 2 号 公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の
決算および事業計画に関する書類の提出について

【スポーツ推進課】

（内容） 公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の令和 7 年度事業報告および収支決算に関する書類、令和 8 年度事業計画および収支予算を、別冊のとおり提出するものです。提案理由としては、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規程に基づき、公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の経営状況を説明する書類を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

5 報告事項

（１）米原市学校における働き方改革取組方針

【学校教育課】

（２）米原市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定

【学校教育課】

A 委員 : 働き方改革は喫緊の課題だと思います。全国的にも教員採用試験の倍率の低下、あるいは合格しても辞退されるというニュースがよく聞かれます。年度初めからの教員不足、穴埋めの講師不足等、深刻な状況だということです。米原市に関してはスタート時点で全員揃っていたと聞きました。このような教員不足は、他の教員への負担が増え、より厳しい状況となり非常に悪循環になっていると思います。資料にもある通り、子ども一人ひとりと向き合ったり、本来の授業準備に専念できる時間を確保するなど、環境を整えることが本当に喫緊の課題だと思います。目標として、超過勤務時間の設定や年次有給休暇の取得促進等を挙げられています。私の学校現場の経験から言いますと、実際には年休取得が出来ない状況です。理由は休むと他の先生に負担をかけたり、カバーしてもらえない人材が無いからで

す。ですから、夏休みなどの期間中に、とにかく年休消化をするという取り方です。稼働日に体調不良や所用で気軽に休みを取れないのが現状だと思っています。学校現場は、子どものためにという先生の真面目さと熱意だけで支えられているような気がします。サポーターや支援員さんの配置等、いろいろな措置を講じていただいていると思いますが、教職員定数そのものを見直すように国への働きかけを継続していただくべきではないかと思います。市費で非常勤講師を配置していただいていると思いますが、常勤講師で各学校に1人、2人配置するなどの措置を取らないと、本当に休めない状況があります。ぜひ予算措置を取り、少しでも改善できる方法を考えていただければと思います。部活動の現状についても今後、議論されると思いますが、本当に思い切った事を考えないと、いつまでも解決しないのではないかと思います。

教育長 : 現場の校長会からも、そのような要望は出ています。教育委員会からも定数改善等について継続的に要望は挙げています。しかし、現実的にはなかなか難しいところです。おっしゃる通り、市費で常勤講師を配置する事は理想ですが、予算的な事や人材探しは難しいところです。現状、米原市は非常勤講師に関して他市町より充実した形で配置していると思っています。ただ、退職された方の力を借りて補充しているのが現状です。常勤は難しいが非常勤なら協力していただける方々ですので、御理解をいただければと思います。

D委員 : 春照小学校の学校運営協議会に入らせていただいているのですが、春照小学校感動体験というのを大事にされています。子どもたちと感動を共有する、先生が面白いと感じた事や楽しいと感じた事を子どもたちにも伝えたいという事です。このような余裕は、先生が心身ともに健全でないと生まれないと思います。休暇を大切に、子どもたちと向き合っていただきたいというお話をさせていただきました。

いぶき認定こども園に保護者たちから自発的に立ち上がったボランティアサークルがあります。先生たちも大変なので、保護者で何かサポート出来ないかという思いからです。具体的には、入園の時に掲示板を可愛らしく張り紙で飾り付けしたり、絵本の修正などから始まりました。最初は、先生方も躊躇され保護者たちとの距離が縮まらなかったのですが、少しずつ継続していくことで、今では先生方と良い関係が築けています。PTAが無くなった今、各学校に何か学校応援隊のようなものはあるのでしょうか。大原小学校にはあると聞いたのですが。また、保護者の方も活気づいて学校や先生を支えようという空気になれば良いなと思います。私も何か出来る事があればと思っています。

事務局 : 米原市の小中学校の特色は地域に近い、地域との連携だと思っています。地域を愛する心情を育むために、どんどん子どもたちが地域に出て行っている良さがあります。このような関係性が築き上げられていく中で、地域の皆さんが学校運営に協力あるいは参画していただく機会が増えてきています。そのプラットフォームになっていただいているのが、学校運営協議会やコミュニティースクールです。大原小学校の状況は、今、詳しくは承知していませんので、お答えできません。申し訳ございません。学校運営協議会を中心に学校と地域を繋いでいただき、機運を高めていただくことは、今後も各小中学校にお願いしていききたいと思います。本当にいろいろな団体が、読み聞かせであったり、学校の環境整備活動であったりと協力をいただいています。教育委員会として大変感謝しています。

D委員 : ウェルビーイングとは何か調べました。身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念ということでした。子どもたちのウェルビーイングを高めるためには、教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングも重要だと思います。子どもだけでなく若い先生方も自分で考えた事を行動に移せることで、やる気が湧いてくると思います。トップダウンのように、上層部が方針や意思決定を下し、それが現場に伝達されるのではなく、ボトムアップのように、現場の先生方が意見やアイデアを提案し、それを吸い上げる形で上層部が最終的な意思決定を行う、このような関係性が築き上げられたら、ウェルビーイングの向上になるのではないかと思います。

教育長 : 働き方改革の実現は、あれもしない、これもしないではなく、教員に働き甲斐を持ってもらう事が大事だと私も思います。

(3) 山東図書館・近江図書館の臨時休館について 【図 書 館】

(4) 臨時休館に係る図書の個人貸出し冊数の変更について 【図 書 館】

(5) 米原市スポーツ振興員の委嘱について (追加) 【スポーツ推進課】

(6) 後援等名義使用承認 (後援) について

○湖北国際都市構想推進事業 【学校教育課】

可能性は無限大！グローバルベンチャーズ～キミのひらめきで未来を動かせ～

○芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル 2026 【生涯学習課】

○令和8年度ぶんさん箏曲アンサンブル成果発表会 【生涯学習課】

○創作芝居ユニット米飯屋 第二楽章「つるのどんでんがえし」 【生涯学習課】

○2026 子育てと教育を語るつどい 【教育総務課】

6 所属長報告

【教育総務課】【学校教育課】【生涯学習課】【図書館】【スポーツ推進課】
【学校給食課】

資料事前送付により説明省略

所属長に対する質疑

C委員 : タブレットパソコンの更新について。経年劣化等で実際どのような不具合が生じていますか。バッテリーが摩耗して使用出来ない状態など事例がありますか。

事務局 : おおよそ月に10件から20件の修理依頼があり、多くは落としてしまった等の画面の割れです。依頼の都度、補償で修理しています。一般的に電子製品の買い替え時期は5年程度が良いと言われています。製品の機能進化、処理速度等も変わっていきます。子どもたちの教育環境を整えるためにも、おおよそ5年を目安に更新していく計画で進めています。

F委員 : 議案第26号工事請負契約の締結について（双葉総合体育館空調設備設置工事）。空調の機材はいくつか提案があったのですか。

事務局 : 空調のタイプとしては、ガスや電気です。市内各学校を確認し検討をした結果、動力源はガスとなるガスヒートポンプ方式で、市内の体育館を整備していくことを基本計画としています。その後、設計業者に委託をし、各施設の大きさ等に応じて空調のタイプや設置台数の設計を行っています。双葉総合体育館はスポーツ施設として大きな体育館になりますので、学校の体育館より大規模な設備になっています。

F委員 : 2年前に他府県の体育館に行った時に、家庭用エアコンが設置されている所がありました。冷たい空気は下に溜まるのでフロアで活動する人たちには十分涼しくなっていました。それが良いか悪いか、耐久性も分かりませんが。本体に鉄枠でカバーし、ボール等が当たっても壊れないように工夫されていました。故障等の場合、そのエアコンだけを取り替えたらいかにされているのだなと思っていました。施設の整備のように大規模な事業では、空調一つをとっても色々な提案があり、議論を重ね検討の上での決定だと思います。

7 協議事項

米原市の目指す教育について

教育長 : 皆さんも学校を訪問していただくと「子どもたちが自分でつかむ自分の未来プロジェクト」の資料を見ていただいていると思います。子どもたちが必要な力を身に付けるために、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」学習の成果だけでなく、学びの過程も重視し「何ができるようになるか」そして子どもたちは「学びを人生や社会に生かそうとする」。学習指導要領の中でもこのような学びを明確に示しています。ではまずどうすべきか。自分自身として将来の夢を持ちながら、色々な取り組みを進めていく。自分の良さや得意なことなどの価値を認め、自分の成長を感じ、自分の可能性を感じる感覚、これらを実感することで自己肯定感を育んでいくことになると思います。「やればできる」という思いを持ってもらえることが大事だと思います。

そして、もう一つの大きな柱として、自己有用感があります。自分が社会のために何が出来るか、自分の存在や行動が、他者や集団、社会の役に立っているか、これらを実感できる感覚。全ての小中学校で子どもたちの力を育んでいく教育活動を進めています。

確かに、全国学力学習状況調査の結果でポイントが全国より低いとか高いとか、全く無視をする訳ではありません。しかしそれ以前に数値では測れない自己肯定感、自己有用感を育んでいくことをベースに置きながら、教育を進めていこうということで、馬淵教育長就任時から、この取り組みを進めています。私自身が現役時代から道德教育に非常に力を入れてきたこともあり、活動が活動で終わってしまうことが一番良くないと思っています。子どもたちが自分の思い考えを確認し感じた事を道德の時間の中で、クラスの仲間と交流し、他人を思いやる心や社会との関わりを育む、そういう気持ちは大事にしていくべきだと思います。このような一体的な学びの中で、自己肯定感や自己有用感が子どもたち一人ひとりの心に定着し、さらに高まっていくことを狙いにしています。この活動ベースとなるのが、「育てたい児童・生徒像」を明確にしながら、学習指導要領で定められた内容項目のうち、各学校が特に重点的に指導すると定めた項目「道德科における重点内容項目」を挙げながら、「重点とする活動とねらい」を明確にし進めていきます。これが、昨年度から道德教育を基盤にした取り組みです。昨年度、県や文科省の指定を受けながら、双葉中学校と息長小学校を指定校にして取り組みをしました。今年度は坂田小学校と双葉中学校を指定校として先進的に取り組みながらも、指定校以外の学校も道德教育の充実をお願いしたいと思います。

昨年度、息長小学校と双葉中学校の2校で取り組んだ内容は、道德科と総合的な学習の時間、行事や生徒会活動との関連を明確にし進めていきました。そして、子どもたち自身が自分ごととして考えられるような道德の授業作り、あるいは日常生活の中で生かす力を育成する、そういう道德教

育に取り組みました。成果としては、子どもたちが自分自身を見つめ、自分の心の成長を実感できたこと、これまで行ってきた学校行事等における道徳的価値が整理でき、行事と道徳教育との関連が明確になる、ねらいが明確化できたことで、自己肯定感、自己有用感の醸成に繋がりました。また、教員側の成果も確認しています。今まで道徳に自信がない教員も自信を持ち、道徳科の授業に取り組みたり、あるいは職員室内で道徳の授業について会話が增え、子どもたちのことで交流する場面が見られたりしました。教員の意欲が研究や指導、指導力向上に繋がりました。

今年度は、令和8年度の米原市小中学校の共通実践ということで、4月3日の管理職会議の中で、ねらいとして「夢・志構想図」を学校・教師に目標としてだけでなく、子どもたちを主体とした取り組みに進化させた学校運営をしていこうと、校長、教頭に対して話をしました。自分の将来像を思い描きながら、子どもたちが主体的に自己肯定感と自己有用感を育む学校にしていこうということです。学校・教師の目標から児童生徒も含めた一体的な取り組みにしていこうということです。これが、「夢・志構想図」の集大成の姿ではないかと思っています。取り組みとしては、学校の「夢・志構想図」に込めた校長先生の思いや願いを児童生徒にしっかり語ってもらいます。図を見せながら、学校としてこんなことをしっかりやっていきたいと説明してもらいます。そして、子どもたちが自分の「好き」や「得意」を見つける中で、発達年齢に応じ、自分の将来像を思い描きながら、自分の夢と志を表明する、そのような取り組みをしてほしいと伝えました。

人事訪問で伊吹山中学校に行った時に、早速、職員室前の廊下に全校生徒達の夢・志が掲示されていました。教室であるとか廊下等に掲示することによって、友達の夢や志が確認できて、お互いに励まし合ったり、共通理解も出来たりするのではないかという話もしました。また、道徳科の教科書に挟み込みながら道徳の授業をし自分を振り返る場面で活用したり、あるいは、キャリアパスポートという児童・生徒が自らの学習状況や学校内外の活動、将来の目標などを継続的に記録する冊子がありますが、そういうものに織り込みながら、一体的にしていこうことも提案しました。そうすることによって、学校の教育目標であるとか、学校の重点的な教育活動を子どもたちが自分ごととして捉えられるかなと思います。そして日頃から、自分の夢や志を常に意識しながら生活できたり、友達の夢や志を応援できたりするでしょう。さらに、道徳の時間等で自分を振り返る場面で活用し、自己理解が深まると良いなと思います。そういう中で、自己肯定感、自己有用感の確かな醸成に繋がっていく。これらが取り組みの中で期待している効果です。

このように、「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」を心のベースとし

て、米原市の小中学校すべてが共通実践として進めているところです。皆さんからも御意見を伺いながら、共通理解出来たらと思っています。

A委員： 一生懸命考えましたが、自分が小中学校の時に、夢・志と言われますと持っていたかなと。小中学生に表明させる事は少し難しいかなと思いましたが、学校として重要な事は、この夢・志が一人ひとり表明出来るかどうかではなく、それを育てていくための基盤となる一人ひとりの自尊心、自己肯定感と自己有用感を高める事ができるかというのが、教育の肝ではないかと思います。教育長のお話の通りだと思います。ただ、学校教育課の問題行動の事例を読ませていただくと、家庭にすら安心する居場所のない子どもも居ます。同じ制服を着て登校しているけれど、やっぱりカバンの中身はみんな違うんだと。家庭の不和や悩みを抱えて登校している子どもたちもいる。そんな子どもたちの思いに気づき、寄り添いながら、そっと背中を押せるような先生であって欲しいと思います。また仲間と繋いでいけるような先生を目指していただきたいという思いでいます。子どもたちは周りから認められたり、受け入れられていると感じて初めて自分らしさを発揮出来ると思っています。このように先生との信頼関係や仲間との繋がり、これが一人ひとりの自己肯定感、自己有用感を高める基盤となるかなと思います。もっと単純に考えたら、友達が大好き、先生が大好き、学校が大好き、これが自己肯定感、自己有用感を高める土壌になるのかなと私自身は考えています。

もう一つ思う事は、夢・志も大事で良いのですが、夢を目指して努力を続ける事はとても良い事だけど、その夢が叶わなかった時にポキッと折れない心、したたかさ、軌道修正しながら再チャレンジしていけるようなレジリエンスというか、ただ耐えるだけでなく、そこから立ち直り、さらに成長の糧にする力を付けていくということも、学校の先生は常に念頭に置く必要があると思います。夢や志の構想図に込めた思いを先生が語る事はもちろんですが、私はどちらかというと、先生も悩んでいた事がある、失敗した事があると、子どもたちに語れるような先生であり学校であって欲しいと思います。

B委員： 同じテーマで市内の小中学校が同じ方向に向かって、子どもたちを育てていく事は、大変良い事だと思います。子どもたちは自分の良さを見つけにくく、わからなくなる事が多いかと思います。何か得意な事を披露した時に、友達から褒められたりすると自信を持ち、さらに伸ばしていけたり、学級の中で友達の優しいところ、良いところを見つけようとする中から、自分自身の良いところなどを少しずつわかっていけたりするのかなと。そして、自分を褒める、自分を好きになっていく、自己肯定感も付いていく

のかなと思いました。

学年が下になるほど、将来何になりたいかというのは難しいと思いますが、やってみたい事とか憧れとか、その学年に応じてあると思います。そういう目標を持つことで、自分はどんな勉強をして頑張っていけば良いか、何を頑張れば良いかと目安になっていき、非常に良いかと思います。

D委員 : 道徳教育に力を入れているというのは、とても大切な事だと思います。自分の夢と志を表明する事は、自分は何が好きで何が得意で自分の事を良く理解していないと、将来像は見えてこないと思います。集団ではなく個を尊重するような事を感じると、時代は変わったなと、今、我が子を育てていて思います。例えば、制服です。女の子はスカートでもズボンでも選択出来ます。個の意思を尊重するというの新しい時代にあった教育だなと思います。自分の得意や好きを見つける中でも、学校の中には常に集団行動があり、嫌な事でもしないとイケません。もう少し選択制を取り入れた教育があっても良いかなと個人的には思います。特に中学生の女子だと体の成長で色々変化もあります。例えば登山に行くとトイレに困ったりします。集団で行動しないとイケないことが、その子にとっては苦痛になっていないか。自分の意思を尊重するような学校の在り方になると良いなと思います。

低学年ほど本などのお話の中から得る事は多いと思います。自然に道徳を学ぶこと、心の成長ができるような本を読み聞かせる時間は大切だと思いますので、道徳の授業の中に、図書と連携することは良いと思います。

C委員 : 6年生と1年生の孫がいます。6年生になると学校の行事も中心になってきて、その行事当日だけではなく、その行事に向け、段階に応じて色々な準備をしているんだと知ります。我々の時代は、行事はぶっつけ本番で、その日楽しかったら良いという感じでしたが。先日も団長のオーディションがあると。それが駄目でも副団長にはなれると子どもが言ってました。段階ごとに先生がきちんと指導されている事がよくわかります。1年生の孫は、ただ元気にはしゃいでいます。6年生と1年生を見ていると、学校で自己肯定感や自己有用感、社会への貢献を教えてもらい本人は理解しているのですが、家庭ではどうかというと、別世界です。もう少し1年生の面倒を見たらと笑いながら思います。学校だけでなく家庭や身近な所でも活かされていくようになると良いかなと思います。外ではしっかり出来ているのかもしれませんが、私が見る限り、そのような感じです。先生達から見て、どういう言動が出た時に目的が達せられているのか、抽象的な言葉ではなく、具体的な言動で判断出来れば、先生達もやりがいがあるのではないかと思います。

私の孫に関して言えば、小学校も人数が少なくなっていく中で、楽しんで学校に行っている事は間違いないです。春休みや夏休みが早く終わって欲しいと言ってます。地域内に子どもが少なく遊ぶ事があまりないという理由もあります。学校が楽しいと言っていますので、先生達の指導が上手くなされているんだなと思います。

F 委員 : 先ほど、教育長からもお話がありましたが、春季大会で良い成績が出ました。伊吹山中学校のホッケー部は地域で伝統的に力を付けるような環境もあります。双葉中学校の陸上部の子どもたちも、土曜日や平日の夕方などに田んぼ道をジャージ姿で走っています。人が見ていない所で頑張っています。多分、自分の望む結果が出なくて、少しでも良い成績を出したくて努力しているのだと思います。米原中学校のサッカー部も練習時間が1時間位で16時半には完全下校になります。限られた時間の中で自分達で工夫して練習をし、今まで1回戦、2回戦負けだったのが今回優勝したというのは、それこそ自己肯定感に繋がると思います。部活動、スポーツというのは、そういう部分が育まれると同時に、やはり勉強も大事で、学力・学習状況調査のポイント云々もありますが、両輪で頑張らないといけないと思います。学習というのは答えが1つですが、社会に出たら答えは何が正しいか何通りもあり、色々な課程を辿って、これがベストだなというところに辿り着くことがあると思います。そういう意味では失敗をすれば、もう少し勉強が足りなかったから勉強をすれば、社会に出てからもそういう思いが出てくるものです。そう考えると、部活動でも勉強でも、成長期にどういう経験をしたかが、将来の自分に繋がっていくと思います。「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」というテーマで各学校の校長先生から先生に語り、児童に生徒に語り、子どもたちの中で何かが変わるとか、それに対して保護者である親も、ただ頑張れという思いから、楽しくやったら良いよと、上手くいれない時には声かけも大事になってくると思います。このような流れ、学習でも道徳的な視点でも、子どもたちが成長していく上でプラスになっていくことだと思います。

先ほど、北川委員がおっしゃいましたが、認定こども園や小学校の活動に保護者が何か活動のサポートやお手伝いで入ったりすることは、子どもに関わる大人は学校の先生か自分の親ぐらいだと思いますので、きっと子どものプラスになると思います。そういう流れが出来ていくと良いなと感じます。

教育長 : 色々な御意見をいただきました。参考にしながら、さらにバージョンアップさせていただければ良いかなと思います。

上橋委員のおっしゃる通り、家庭環境で厳しいところもありますが、身

近な教師との関わり、声かけという部分で自分の良さを感じられる、子どもが意識できるということが大事だと思います。そして、米原市は地域と共にというところがあり、学校の事が大好きだ、学校のためにという大人たちと触れ合う中で、自分を社会に活かす志を持つ、それがシビックプライドに繋がっていくかなと思います。一旦は大学等で市外へ出ても、やっぱりこの地域に帰ってきて、地域のために活動してくれることが理想だと思います。

最初の挨拶で、祭りの話をしましたが、ずっと帰ってくるわけではなくても、やっぱりいつも地域の事が大好きだという子どもたちを育てていきたいという思いが一番大事かと思います。進め方は色々だと思いますが、米原市の共通実践として進めていきたいと思います。

学校だけの生活ではないので、保護者にも理解してもらい家庭生活の中でも一緒に進められると、子どもたちの中にしっかりと根付いていくだろうと思います。

この構想図も学校だよりで保護者に示してはいますが、なかなかそれだけでは伝わらないところもあります。機会をみて学校の思いをしっかりと伝えながら、保護者と両輪で子どもたちの育成に関わっていくことも大事にしていきたいです。

今日は米原市の目指す教育について、共通理解できたかなと思います。

8 質疑応答

9 その他

(1) 令和8年第6回定例教育委員会の開催について

日 時：令和8年6月24日（水）午後3時30分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

(2) 令和8年第7回定例教育委員会の開催について

日 時：令和8年7月22日（水）午後3時30分から

場 所：米原市役所 会議室3-C

10 閉 会

以上をもって令和8年第5回定例教育委員会を午後5時5分に終了した。